

Sun Server X4-8 VMware ESXi インストールガイド

ORACLE®

Part No: E55416-01
2014年6月

Copyright © 2014, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクル社までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT END USERS: Oracle programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, delivered to U.S. Government end users are "commercial computer software" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, shall be subject to license terms and license restrictions applicable to the programs. No other rights are granted to the U.S. Government.

このソフトウェアもしくはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアもしくはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション(人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む)への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する場合、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性(redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したこと起因して損害が発生しても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

OracleおよびJavaはOracle Corporationおよびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

Intel, Intel Xeonは、Intel Corporationの商標または登録商標です。すべてのSPARCの商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD, Opteron, AMDロゴ、AMD Opteronロゴは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標または登録商標です。UNIXは、The Open Groupの登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

目次

このドキュメントの使用方法	5
VMware ESXi 5.5 のインストールについて	9
インストールのタスクマップ	9
VMware ESXi 5.5 およびサーバーのドキュメント	10
関連項目	10
サポートされているソフトウェアバージョンおよびサーバー更新	10
ソフトウェアのインストールオプション	11
関連項目	11
単一のサーバーでの対話式インストールの方法	12
関連項目	12
ESXi 5.5 のインストールの準備	13
▼ ローカルコンソールのセットアップ	13
▼ リモートコンソールのセットアップ	14
必要な情報の収集	15
▼ BIOS の最適なデフォルト設定のロード	17
▼ BIOS モードの設定	17
仮想ディスクの作成およびブートディスクの設定	18
VMware ESXi 5.5 のインストール	21
▼ VMware ESXi 5.5 のインストール (ローカルまたはリモートの対話式インストール)	21
▼ VMware ESXi 5.5 の更新	23
索引	25

このドキュメントの使用方法

このセクションでは、Oracle の Sun Server X4-8 用の最新のファームウェア、ソフトウェア、およびドキュメントの入手方法を説明します。フィードバック用のリンクおよびドキュメントの変更履歴も記載されています。

- [5 ページの「Sun Server X4-8 モデル命名規則」](#)
- [5 ページの「最新のファームウェアとソフトウェアの入手」](#)
- [6 ページの「Oracle サポートへのアクセス」](#)
- [6 ページの「ドキュメントとフィードバック」](#)
- [6 ページの「このドキュメントについて」](#)
- [7 ページの「サポートとトレーニング」](#)
- [7 ページの「寄稿者」](#)
- [7 ページの「変更履歴」](#)

Sun Server X4-8 モデル命名規則

Sun Server X4-8 という名前の意味は次のとおりです。

- X は、x86 製品であることを意味します。
- 最初の数字 4 は、サーバーの世代を意味します。
- 2 番目の数字 8 は、プロセッサの数を意味します。

最新のファームウェアとソフトウェアの入手

Oracle x86 サーバー、サーバー (ブレード)、およびブレードシャーシのファームウェア、ドライバ、およびその他のハードウェア関連ソフトウェアは、定期的に更新されています。

最新バージョンは次の 3 つのうちいずれかの方法で入手できます。

- Oracle System Assistant - これは、工場出荷時にインストールされる Sun Oracle x86 サーバー向けの新しいオプションです。これには必要なすべてのツールとドライバ

が含まれており、ほとんどのサーバーに取り付けられている USB ドライブ上にあります。

- My Oracle Support - <https://support.oracle.com>
- 物理メディアのリクエスト - My Oracle Support から入手可能なダウンロード (パッチ) を含む DVD をリクエストできます。サポート Web サイト上の「問合せ」リンクを使用してください。

Oracle サポートへのアクセス

Oracle のお客様は、My Oracle Support を通して電子サポートにアクセスできます。詳細については、<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=info> または聴覚に障害をお持ちの場合は <http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=trs> を参照してください。

ドキュメントとフィードバック

ドキュメント	リンク
すべての Oracle 製品	http://www.oracle.com/documentation
Sun Server X4-8	http://www.oracle.com/goto/X4-8/docs
Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM)。『プロダクトノート』にリストされている、サポートされている Oracle ILOM のバージョンのドキュメントを参照してください。	http://www.oracle.com/goto/ILOM/docs
Oracle Hardware Management Pack。『プロダクトノート』にリストされている、サポートされている Oracle HMP のバージョンのドキュメントを参照してください。	www.oracle.com/goto/ohmp/docs

このドキュメントについてのフィードバックは <http://www.oracle.com/goto/docfeedback> からお寄せください。

このドキュメントについて

このドキュメントセット内の情報はトピックに基づく形式 (オンラインヘルプと同様) で表示されるため、章、付録、およびセクション番号は含まれません。

サポートとトレーニング

次の Web サイトに追加のリソースがあります。

- サポート: <https://support.oracle.com>
- トレーニング: <http://education.oracle.com>

寄稿者

主な執筆者: Ray Angelo, Michael Bechler, Cynthia Chin-Lee, Lisa Kuder, Mark McGothigan, Ralph Woodley。

寄稿者: William Schweickert, Anthony Villamor, Mick Tabor, Richard Masoner, Tamra Smith-Wasel, Denise Silverman。

変更履歴

次の一覧はこのドキュメントセットのリリース履歴です。

- 2014 年 4 月。初版。
- 2014 年 6 月。製品リリースのための変更。

VMware ESXi 5.5 のインストールについて



このドキュメントでは、VMware ESXi 5.5 を Oracle の Sun Server X4-8 にインストールする方法について説明します。

- [9 ページの「インストールのタスクマップ」](#)
- [10 ページの「VMware ESXi 5.5 およびサーバーのドキュメント」](#)
- [10 ページの「サポートされているソフトウェアバージョンおよびサーバー更新」](#)
- [11 ページの「ソフトウェアのインストールオプション」](#)
- [12 ページの「単一のサーバーでの対話式インストールの方法」](#)

インストールのタスクマップ

次の表に、VMware ESXi ソフトウェアの大まかなインストールタスクを示します。

手順	説明	リンク
1	VMware ESXi 5.5 ドキュメントにアクセスします。	10 ページの「VMware ESXi 5.5 およびサーバーのドキュメント」
2	サポートされている VMware ESXi バージョンについて学習します。	10 ページの「サポートされているソフトウェアバージョンおよびサーバー更新」
3	VMware ESXi 5.5 のサーバーインストールオプションについて学習します。	11 ページの「ソフトウェアのインストールオプション」
4	どのインタラクティブインストール方法を使用するかを判定します (必要な場合)。	12 ページの「単一のサーバーでの対話式インストールの方法」

手順	説明	リンク
5	VMware ESXi 5.5 のインストールのためにサーバーを準備します。	「ESXi 5.5 のインストールの準備」
6	使用可能ないずれかのオプションを使用して VMware ESXi 5.5 ソフトウェアをインストールします。	「VMware ESXi 5.5 のインストール」
7	VMware ESXi 5.5 ソフトウェアを更新します。	23 ページの「VMware ESXi 5.5 の更新」

VMware ESXi 5.5 およびサーバーのドキュメント

VMware ESXi およびサーバーに関するドキュメントは以下にあります。

表 1 VMware ESXi およびサーバーのドキュメント

一般的な VMware ESXi のドキュメント	http://www.vmware.com/support/pubs/vsphere-esxi-vcenter-server-pubs.html
Sun Server X4-8 のドキュメント	http://www.oracle.com/goto/X4-8/docs

サーバーに関する最新情報は、『[Sun Server X4-8 プロダクトノート](#)』で維持されています。

関連項目

- [11 ページの「ソフトウェアのインストールオプション」](#)
- [「VMware ESXi 5.5 のインストール」](#)

サポートされているソフトウェアバージョンおよびサーバー更新

表 2 サポートされるソフトウェアバージョン

初期リリース時のサポートバージョン	VMware ESXi 5.5
追加のサポートバージョン	新しいバージョンのソフトウェアが追加されると、詳細は https://wikis.oracle.com/display/SystemsComm/

	Sun+Server+X4-8#tab:Operating-Systems で公開されます
--	---

ソフトウェアのインストールオプション

このドキュメントでは、ローカルおよびリモートの対話式 ESXi 5.5 インストールについて説明します。

ソフトウェアのインストールについては、ほかにも VMware ESXi 5.5 ドキュメントに記載されているオプションがあります。VMware ESXi 5.5 では、次のインストールオプションを利用できます。

- **対話式 ESXi インストール:** サーバーが 5 台未満のインストールの場合は、この方法をお勧めします。

このドキュメントで説明する対話式インストールの方法については、[12 ページの「単一のサーバーでの対話式インストールの方法」](#)を参照してください。

- **スクリプトによる ESXi インストール:** スクリプトの実行は、無人のインストールで複数の ESXi ホストを配備するための効率的な方法です。

スクリプトによるインストールについては、『*vSphere のインストールとセットアップ*』を参照してください。

- **vSphere 自動配備 ESXi インストール:** vSphere 自動配備 ESXi インストールでは、vCenter Server で多数の ESXi ホストを効率的にプロビジョニングおよび再プロビジョニングできます。

自動配備インストールについては、『*vSphere インストールとセットアップ*』を参照してください。

- **ESXi イメージビルダー CLI:** ESXi イメージビルダーを使用して、カスタマイズされた更新、パッチ、およびドライバのセットを含む ESXi インストールイメージを作成できます。

ESXi イメージビルダー CLI については、『*vSphere インストールとセットアップ*』を参照してください。

関連項目

- [10 ページの「VMware ESXi 5.5 およびサーバーのドキュメント」](#)
- [「VMware ESXi 5.5 のインストール」](#)

単一のサーバーでの対話式インストールの方法

このドキュメントでは、単一のサーバーでのリモートまたはローカルインストール用のインストール環境をセットアップする手順について説明します。サーバーの数が少ない配備では、対話式インストールをお勧めします。

メディアの配布方法	定義	その他の要件	インストール手順へのリンク
ローカル	サーバーに接続された物理 CD/DVD ドライブまたはサーバー USB ドライブを使用します。	<p>モニター</p> <p>USB キーボードとマウス</p> <p>USB CD/DVD ドライブ</p> <p>ESXi 5.5 配布メディア</p>	21 ページの「VMware ESXi 5.5 のインストール (ローカルまたはリモートの対話式インストール)」
リモート	Oracle ILOM リモートコンソールアプリケーションを実行しているリモートシステム上の、リダイレクトされた物理 CD/DVD ドライブまたは DVD ISO イメージを使用します。	<p>ブラウザが実行されているリモートシステム</p> <p>接続された物理 CD/DVD ドライブまたは CD/DVD ISO イメージ</p> <p>ESXi 配布メディア</p> <p>サーバーの管理ポートに対するネットワークアクセス</p>	21 ページの「VMware ESXi 5.5 のインストール (ローカルまたはリモートの対話式インストール)」
PXE イメージ	PXE サーバーにインストールされた OS イメージを使用します。	OS イメージがインストールされた PXE サーバー。	<p>PXE サーバーインストールは、このドキュメントのスコープに含まれません。</p> <p>PXE インストールの詳細は、http://www.vmware.com/support/pubs/vsphere-esxi-vcenter-server-pubs.html にある『vSphere のインストールとセットアップ』を参照してください</p>

関連項目

- [「ESXi 5.5 のインストールの準備」](#)
- [「VMware ESXi 5.5 のインストール」](#)

ESXi 5.5 のインストールの準備

次の表に、ESXi 5 の対話式インストールを準備するための大まかな手順をまとめてあります。

注記 - PXE サーバーを使用して対話式に ESXi 5.5 をインストールすることもできます。PXE サーバーを使用した ESXi のインストールについては、『*vSphere インストールとセットアップガイド*』を参照してください。

説明	リンク
該当する手順を使用して、インストール環境をセットアップします。	<ul style="list-style-type: none">■ 13 ページの「ローカルコンソールのセットアップ」■ 14 ページの「リモートコンソールのセットアップ」
インストールに必要な情報を収集します。	15 ページの「必要な情報の収集」
BIOS の最適なデフォルトをロードします (必要な場合)。	17 ページの「BIOS の最適なデフォルト設定のロード」
BIOS ブートモードを設定します (必要な場合)。	17 ページの「BIOS モードの設定」
仮想ディスクを作成します (必要な場合)。	18 ページの「仮想ディスクの作成およびブートディスクの設定」

▼ ローカルコンソールのセットアップ

- 始める前に
- サーバーハードウェアの時計が UTC に設定されていることを確認します。サーバーの BIOS 設定ユーティリティを使用してこの設定を確認できます。
 - ネットワークストレージの切り離しを検討します。このアクションにより、インストーラが利用できるディスクドライブを検索するのにかかる時間が短縮されます。

注記 - ネットワークストレージを切り離すと、切り離されたディスク上のファイルはインストール時に利用できなくなります。既存の ESX または ESXi インストールを含む LUN は切り離さないでください。既存の ESX インストールのサービスコンソールを含む VMFS データストアは切り離さないでください。これらのアクションは、インストールの結果に影響を及ぼす可能性があります。

1. 『Sun Server X4-8 プロダクトノート』および VMware のドキュメントを確認してください。
 - Sun Server X4-8 のドキュメントは次で入手できます。
<http://www.oracle.com/goto/X4-8/docs>
 - VMware ESXi 5.5 ソフトウェアのドキュメントは、次で入手できます。
<http://www.vmware.com/support/pubs/vsphere-esxi-vcenter-server-pubs.html>
2. VMware の Web サイトから VMware ESXi 5 イメージ (.iso) ファイルのコピーをダウンロードします。
<http://www.vmware.com/download/>
3. .iso ファイルのコピーを DVD または USB ドライブに書き込みます。
4. 次をサーバーに接続します。
 - DVD-ROM ドライブ (必要な場合)
 - USB キーボードとマウス
 - モニター

サーバーを配線する方法の詳細については、『Sun Server X4-8 設置ガイド』を参照してください。

- 次の手順
- 15 ページの「必要な情報の収集」
 - 17 ページの「BIOS モードの設定」
 - 18 ページの「仮想ディスクの作成およびブートディスクの設定」

▼ リモートコンソールのセットアップ

1. 『Sun Server X4-8 プロダクトノート』および VMware のドキュメントを確認してください。

- Sun Server X4-8 のドキュメントは次で入手できます。
<http://www.oracle.com/goto/X4-8/docs>
 - VMware ESXi 5.5 ソフトウェアのドキュメントは、次で入手できます。
<http://www.vmware.com/support/pubs/vsphere-esxi-vcenter-server-pubs.html>
2. 次のいずれかの方法で <http://www.vmware.com/download/> から VMware ESXi 5.5 ソフトウェアをダウンロードします。
 - VMware ESXi 5 ソフトウェアをダウンロードし、ダウンロードした .iso イメージを使用してインストール CD/DVD を作成します。
 - リモートサーバーにソフトウェアをダウンロードします。
 3. 次をリモートサーバーに接続します。
 - DVD-ROM ドライブ (メディアからインストールする場合)
 - USB キーボードとマウス
 - モニター
 4. Oracle ILOM リモートコンソールを設定します。

Oracle ILOM リモートコンソールの設定については、『Sun Server X4-8 設置ガイド』を参照してください。
- 次の手順
- [15 ページの「必要な情報の収集」](#)
 - [17 ページの「BIOS モードの設定」](#)
 - [18 ページの「仮想ディスクの作成およびブートディスクの設定」](#)

必要な情報の収集

対話式インストールでは、必要なシステム情報を求めるプロンプトがシステムで表示されます。スクリプトによるインストールでは、インストールスクリプトでこの情報を指定する必要があります。

将来の使用に備えて、インストール中に使用する値をメモしておいてください。これらのメモは、ESXi を再インストールし、最初に選択した値を再入力する必要がある場合に役に立ちます。

情報	必須またはオプション	デフォルト	コメント	お客様の情報
キーボードレイアウト	必須	U.S. 英語		
VLAN ID	オプション	なし	範囲: 0 から 4094	
IP アドレス	オプション	DHCP	インストール中に DHCP がネットワークを構成できるようにすることができます。インストール後、ネットワーク設定を変更できます。	
サブネットマスク	オプション	IP アドレスに基づいて計算される		
ゲートウェイ	オプション	構成された IP アドレスおよびサブネットマスクに基づく		
プライマリ DNS	オプション	構成された IP アドレスおよびサブネットマスクに基づく		
セカンダリ DNS	オプション	なし		
ホスト名	静的な IP 設定の場合は必須	なし	vSphere クライアントは、ESXi ホストにアクセスするためにホスト名または IP アドレスを使用できます。	
インストール場所	必須	なし	1 つのディスクにコンポーネントをインストールする場合は、少なくとも 5GB が必要です。	
既存の ESX または ESXi 設定を移行します。既存の VMFS データストアを保持します。	既存の ESXi または ESX インストールを含むドライブに ESXi をインストールする場合は必須。	なし	ESXi ドキュメントで、「既存の ESX/ESXi インストールまたは VMFS データストアを持つドライブへの ESXi のインストール」を参照してください。	
root パスワード	必須	なし	root パスワードには、6 から 64 文字が含まれている必要があります。	

次の手順

- 17 ページの「BIOS の最適なデフォルト設定のロード」
- 17 ページの「BIOS モードの設定」
- 18 ページの「仮想ディスクの作成およびブートディスクの設定」

▼ BIOS の最適なデフォルト設定のロード



注意 - この手順では、BIOS の設定をデフォルト値にリセットし、カスタマイズした設定をすべて上書きします。カスタマイズされた設定を維持するには、デフォルト値をロードする前に、各メニューを確認し、値を書きとめます。

BIOS 設定ユーティリティーには、サーバーにとって最適な BIOS 設定をロードするためのオプションが含まれています。この手順を実行して、BIOS が最適なデフォルト値に設定されるようにします。

- 始める前に
- サーバーにはストレージドライブが取り付けられています。
 - サーバーへのコンソール接続が確立されています。
1. **サーバーの電源を入れます。**
コンソールに POST メッセージが表示されます。
 2. **メッセージに注目し、プロンプトが表示されたら、F2 を押して BIOS 設定ユーティリティーにアクセスします。**
BIOS 設定ユーティリティーのメイン画面が表示されます。
 3. **出荷時のデフォルト値が設定されるようにするには、F9 を押します。**
 4. **変更を保存して BIOS 設定ユーティリティーを終了するには、F10 を押します。**

次の手順 [17 ページの「BIOS モードの設定」](#)

▼ BIOS モードの設定

BIOS ファームウェアはレガシーブートモードと Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) ブートモードの両方をサポートします。

デフォルトの設定は、**レガシーブートモード**です。一部の ESXi のインストールでは、レガシーブートモードと UEFI ブートモードの両方がサポートされます。OS のインストールを実行する前に、レガシーブートモードと UEFI ブートモードのどちらかに BIOS を設定する必要があります。

注記 - ネットワーク経由で VMware ESXi 5.5 インストールを実行する場合は、UEFI ブートモードはサポートされません。レガシーブートモード (デフォルト) を使用する必要があります。



注意 - システム障害が発生する可能性があります。インストール後にブートモードを変更すると、ディスクドライブがブート不可能になる可能性があります。OS インストール時のブートモードによっては、互換性のないブートディスク形式が作成される可能性があります。

1. **サーバーの電源を入れます。**
コンソールに POST メッセージが表示されます。
2. **メッセージに注目し、プロンプトが表示されたら、F2 を押して BIOS 設定ユーティリティにアクセスします。**
BIOS 設定ユーティリティのメイン画面が表示されます。
3. **BIOS 設定ユーティリティで、左右の矢印キーを使用して「Boot」画面に移動します。**
「Boot Menu」画面が表示されます。
4. **下矢印キーを使用して、「UEFI/BIOS Boot Mode」フィールドを選択します。**
5. **Enter を押し、上下の矢印キーを使用して、「Legacy」または「UEFI BIOS」オプションを選択します。**
6. **変更を保存して BIOS 設定ユーティリティを終了するには、F10 を押します。**

次の手順 ■ [18 ページの「仮想ディスクの作成およびブートディスクの設定」](#)

仮想ディスクの作成およびブートディスクの設定

注記 - Sun Storage 6 Gb SAS PCIe 内蔵 HBA (SGX-SAS6-INT-Z) が存在する場合、この手順は必要ありません。

Sun Storage 6 Gb SAS PCIe **RAID** 内蔵 HBA (SGX-SAS6-**R**-INT-Z) が存在する場合、ESXi 5 ソフトウェアをインストールする前に、仮想ディスクを作成する必要があります。『[Sun Server X4-8 設置ガイド](#)』の「OS インストールのためのストレージドライブの構成」を参照してください。

VMware ESXi 5.5 のインストール

VMware ESX/ESXi 5.5 のインストールには次の表に示されている次の手順が含まれます

手順	説明	リンク
1	ローカルまたはリモートメディアを使用して VMware ESXi 5.5 をインストールします。	21 ページの「VMware ESXi 5.5 のインストール (ローカルまたはリモートの対話式インストール)」
2	VMware ESXi 5 ソフトウェアおよびドライバを更新します。	23 ページの「VMware ESXi 5.5 の更新」

注記 - PXE サーバーを使用して ESXi 5.5 対話式インストールを実行することもできます。PXE サーバーを使用した ESXi のインストールについては、ESXi 5.5 のインストールおよびセットアップドキュメントを参照してください。

▼ VMware ESXi 5.5 のインストール (ローカルまたはリモートの対話式インストール)

始める前に [「ESXi 5.5 のインストールの準備」](#)の準備手順をすべて完了します。

1. サーバーのインストールガイドに記載されている方法のいずれかを使用して、サーバーコンソールに接続します。手順については、次のいずれかを参照してください。
 - [13 ページの「ローカルコンソールのセットアップ」](#)
 - [14 ページの「リモートコンソールのセットアップ」](#)
2. ローカルまたはリモートサーバーに配布メディアを挿入します。
3. サーバーの電源を入れるか、リセットします。次は、サーバーをリセットする方法のさまざまな例です。

- **Oracle ILOM Web** インタフェースで、「Host Management」>「Power Control」をクリックし、次に「Action」リストから「Reset」を選択します。
- ローカルサーバーから、電源ボタンを押して (約 1 秒) 電源を切り、再度電源ボタンを押して、サーバーの電源を投入します。
- **Oracle** サーバー SP 上の **Oracle ILOM CLI** から、「**reset /System**」と入力します。

注記 - 次のイベントがすぐに発生するため、次の手順では集中する必要があります。画面に表示される時間が短いため、これらのメッセージを注意して観察してください。スクロールバーが表示されないように画面のサイズを拡大してもかまいません。

コンソールに BIOS メッセージが表示されます。

```
Version 2.14.1219. Copyright (C) 2011 American Megatrends, Inc.
BIOS Date: 09/06/2011 12:12:06 Ver: 20011300
Press F2 to run Setup (CTRL+E on serial keyboard)
Press F8 for BBS Popup (CTRL+P on serial keyboard)
Press F12 for network boot (CTRL+N on serial keyboard)
Press F9 to start Oracle System Assistant
```

4. プロンプトが表示されたら **F8** を押します。

しばらくすると、メニューでブートデバイスが選択できるようになります (次に例を示します)。

```
      Please select boot device:
-----
USB CD/DVD
PXE:IBA GE Slot 1000 v1331
PXE:IBA GE Slot 1001 v1331
PXE:IBA GE Slot 4100 v1331
PXE:IBA GE Slot 4101 v1331
PXE:IBA GE Slot 8100 v1331
PXE:IBA GE Slot 8101 v1331
PXE:IBA GE Slot C100 v1331
PXE:IBA GE Slot C101 v1331
-----
```

5. リストから「**USB CD/DVD**」を選択します。

制御がメディア上の OS インストールプログラムに移ります。

6. **VMware vSphere 5.5** ドキュメントの手順に従ってインストールを完了します。

[10 ページの「VMware ESXi 5.5 およびサーバーのドキュメント」](#)を参照してください。

注記 - ほとんどのドライバはインストールメディアに含まれているため、ドライバを個別にインストールする必要はありません。唯一の例外は、Infiniband オプションカードです (独自のインストールガイドが付属されています)。

次の手順 ■ [23 ページの「VMware ESXi 5.5 の更新」](#)

▼ VMware ESXi 5.5 の更新

1. VMware の Web サイトを調べて、利用できる更新があるかどうかを確認します。
<http://www.vmware.com/support>
2. ESXi 5.5 用のインストールおよび設定に関するドキュメントを参照してください。
3. VMware の Web サイトで説明されているように、すべての更新をダウンロードしてインストールします。

関連項目

- [21 ページの「VMware ESXi 5.5 のインストール \(ローカルまたはリモートの対話式インストール\)」](#)

索引

数字・記号

BIOS

最適なデフォルトのロード

ESXi, 17

ブートモード

設定 (ESXi), 17

BIOS デフォルト

ESXi, 17

ESXi

インストール

準備, 13

設定, 13

タスク, 17

必要な情報, 15

ローカルまたはリモート, 21

インストールオプション

イメージビルダー CLI, 11

自動配備, 11

スクリプト, 11

対話式, 11

インストール設定

リモート, 14

ローカル, 13

インストールタスク, 9

インストール方法, 12

更新, 23

対話式インストール

リモート, 21

ローカル, 21

ドキュメント, 10

Oracle ILOM

リモートコンソール

ESXi, 14

Preboot Execution Environment (PXE)

ESXi のインストール, 12

Unified Extensible Firmware Interface

(UEFI) 参照 BIOS

VMware ESXi 参照 ESXi

あ

インストール

OS

ESXi について, 9

リモート設定

ESXi, 14

ローカル設定

ESXi, 13

オペレーティングシステム

サポートされているバージョン

ESXi, 10

ドライバの更新 (ESXi), 21

か

仮想ディスクの作成, 18

コンソール

リモート (ESXi), 14

ローカル (ESXi), 13

さ

サポートされているオペレーティングシステム

ESXi, 10

手動による OS のインストール

ESXi, 21

た

ツールおよびドライバ

インストール, ESXi, 21

ディスク, 仮想の作成およびブートの設定, 18

ドキュメント

ESXi, 10

ドライバ

インストール (ESXi), 21

は

ブートディスク, 設定と内蔵 HBA

ESXi, 18

ら

リモートインストール

設定 (ESXi), 14

レガシー BIOS ブートモード, 17

ローカルインストール

設定 (ESXi), 13